

教科別採択教科書報告書

教科名 美術	分野等 美術
出版社 開隆堂	書名 美術1、美術2・3
1. 学習指導要領への対応 (1) 巻頭には身近なものと美術との関わりを意識づける導入が掲げられており、生徒の興味・関心を高める工夫がされていることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けられている。 (2) 各題材において、言語活動や体験活動の充実への配慮がなされ、SDGsとの関連が明記されている。 (3) 観点別の目標や学習のポイントが示され、美術の用語や作者の言葉が付記されている。巻末の「学びの資料」に、知識・技能や、発想についての手立てが整理して示されている。題材が発達の段階ごとに系統的に配列されており、美術科の目標実現に向けて構成されている。	
2. 内容について (1) 世界的に活躍するデザイナーや、美術の学習で学んだ力を生かして社会で活躍する人達を紹介するページを設け、美術や美術文化がなぜ人や社会に必要なのか考えられるように工夫されている。 (2) 内容配分は適切であり、生徒の興味・関心を高める魅力ある題材が多く掲載されている。題材での学びを次の活動に生かせるよう、系統性を持たせる構成となっている。 (3) 身近な生活を意識した地域での伝統文化や特色ある活動が紹介され、SDGsと関連付けながら創造活動のイメージが持てる教科書となっている。 (4) 様々な材料や用具を用いた表現方法が、写真や文章で見やすく示されている。親しみやすいキャラクターが登場し、学習を深めるポイントが示されている。授業の導入から発想の広げ方・ふり返りまでサポートする二次元コードが充実しており、生徒の関心・意欲の向上に利用できるようになっている。	
3. 造本について (1) 表紙は特殊加工されており、紙面はインキの反射を抑えた製本になっている。裏表紙の文字が表紙の画像の形と関わりをもたせてデザインされている。生徒の感性を刺激する見開きのページが挿入されている。 (2) A4ワイド判で生徒が扱いやすい大きさである。カラーユニバーサルデザインに配慮されている。2・3年の内容が1冊にまとめられた造本となっている。 (3) 写真の大きさ、形、配置、背景色等が工夫され、原寸大の写真の掲載から実物作品の大きさを想像できる工夫などもされている。説明文のフォントや大きさ等も含め、細部まで造形の要素(色・形・質感)にこだわりをもって造本されている。	